

星をみせし...

2013. Spring Vol.21



百武彗星
種別：彗星

太陽系の旅人

大彗星は春に来る…なぜかそんな気がします。

1986年のハレー彗星も、1997年のヘル・ボップ彗星も、2007年のマクノート彗星も…みんな3月にやってきました。この写真の百武彗星もそう。史上最大の尾を伸ばして、春の空を駆け抜けていきました。

彗星は太陽系の果てからやってきた旅人。

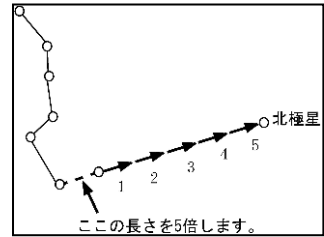
帰ってくるのか来ないのか…彗星との出会いは、いつも一期一会です。

今年もまた春に彗星がやってきます。

どんな出会いがまっているのでしょうか。楽しみですね。

☆北斗七星（おおぐま座）

北の空に7つの星がひしゃくの形に並んでいます。これが北斗七星で、おおぐま座の一部です。北斗七星は、秋～冬にかけてはみえにくく、春～夏になると北の空で見えるようになります。北斗七星を使えば、右の図のように北極星を見つけることができます。



また、ひしゃくの持ち手から、2番目の星をよくみると、明るい星の横に、暗い星がちょこんとくっついて輝いているのがわかります。アラビアでは2つの星が分離して見えるかを兵隊の視力検査に用いていたそうです。

☆しし座

星占いでもおなじみの星座です。一等星のレグルスがしし座を見つける目印になります。レグルスはライオンの心臓にあたり、そこから上へ、鏡に映った「？」マーク（ナテハマーク!?）に星をたどったところが頭です。このナテハマークは、「ししの大鎌」とも呼ばれています。しし座は、11月に見られる流星群も有名で、時には1時間に数百個～数万個という大量の流れ星を見ることもできます。

400文字のギリシャ神話「かみのけ座」～ 神に捧げた王妃の髪～

かつて、エジプトを治めていたプトレマイオス3世、別名エウエルゲテス善行王には、ベレニケという、それは、それは、美しい髪のお后がいました。

ある時、プトレマイオスがアッシリア遠征で戦い向かうことになりました。妻であるベレニケは戦いの女神アフロディーテの神殿を訪れ、「もし、夫が無事に帰ることができましたら、私のこの髪の毛を神殿に捧げることをお約束します」と誓いを立てました。

それからまもなく、エウエルゲテスはみごと大勝利をおさめて帰ってきました。ベレニケは、その美しい髪を切り取って、神殿の祭壇に捧げました。ところが後日、不思議なことに祭壇に祭られていたはずの王妃の髪が、こつぜんと消え失せてしまったのです。

その同じ時期に宮廷天文学者が新しい星の群れを見つけました。

大神ゼウスが、王妃の髪の毛の美しさを愛で、この髪を長く天に召され、星々の中に飾られたのだということです。

この話は、半分史実であり、ギリシャ神話では数少ない史実を伴うお話です。

楽しい天文学入門

『大彗星となるか！？ パンスターズ彗星とアイソン彗星』

今年の注目の天文現象といえば、パンスターズ彗星とアイソン彗星です。

彗星はほうき星とも呼ばれており、しっぽが伸びている姿が特徴です。その正体は汚れた雪玉（氷とちり）です。もともとは太陽系の外縁部にいたものが、何かのきっかけで太陽の引力に引かれ、太陽に近づきます。そのとき、氷が蒸発してコマと呼ばれる彗星の大気を形成、さらにしっぽを伸ばします。

パンスターズ彗星は3月中旬から4月中旬にかけて観測できる予報です。しかし、2月にはパンスターズ彗星の増光ペースが鈍っているとの報告があり、「大彗星にはならないのでは」という見解が増えてきました… 実際はどう見えているのでしょうか。

アイソン彗星は11月から翌年1月に観測できる予定です。過去の大彗星をしのぐほど明るく成長するかも、と予想されていますが、彗星の明るさは実際に来てみないと分からないところがあります。大彗星となるか、はたまた期待はずれとなるか、その真偽をぜひ確かめてみてください。

(飯野 瑛里子)

黄華堂からのお知らせ 「今後の活動予定」

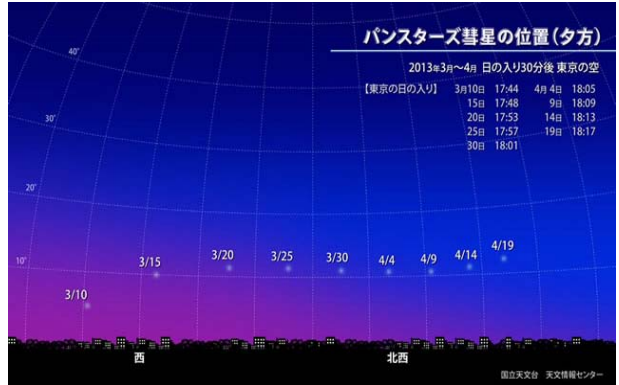


図. パンスターズ彗星の夕方での位置 (国立天文台)

“子どもたちに本物の星空を！”をテーマに活動している星空ボランティアグループ

Mail : info@oukado.org HP : <http://www.oukado.org/>

Mixi : http://mixi.jp/view_community.pl?id=2816441

・・・あなたも黄華堂に参加しませんか？メールでご連絡ください。

黄華堂

